

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

| | | | |
|-----|----|-----|----|
| 大宮小 | 学校 | 児童数 | 73 |
|-----|----|-----|----|

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 全国 | 16.01 | 19.19 | 33.79 | 40.66 | 46.90 | 9.50 | 150.42 | 20.75 | 52.53 |
| 大阪市 | 15.78 | 19.09 | 32.72 | 38.56 | 45.05 | 9.52 | 147.96 | 20.45 | 51.13 |
| 男子 | 14.53 | 17.28 | 35.77 | 34.34 | 41.53 | 9.90 | 138.11 | 17.22 | 46.76 |
| 全国 | 15.77 | 18.16 | 38.19 | 38.70 | 36.59 | 9.77 | 143.13 | 13.15 | 53.92 |
| 大阪市 | 15.64 | 18.06 | 37.62 | 36.76 | 34.65 | 9.83 | 139.56 | 12.71 | 52.47 |
| 女子 | 15.76 | 18.89 | 41.17 | 34.19 | 33.08 | 9.75 | 144.19 | 12.51 | 53.03 |

結果の概要

男子は1種目（長座体前屈）、女子は5種目（握力・上体起こし・長座体前屈・50m走・立ち幅跳び）と体力合計点において大阪市平均を上回った。女子は、全国平均を上回る種目もあった。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に肯定的に答えた児童の割合は、男子が91.7%で大阪市平均より1.7%低く、女子が81.0%で大阪市平均より3.5%低かった。

「1週間の総運動時間が60分未満の子ども」は、男子が11.1%で大阪市平均より0.1%多く、女子が13.5%で大阪市平均より6.5%少なかった。

男子は、運動に対して、否定的にとらえていたり、苦手意識があったりするためか、積極的になれず、運動能力の平均値も低い値になっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

授業では、各学年工夫をし、発達段階に応じた指導を行っている。また、「トップアスリート夢・授業」では、今年度5年生にセレッソ大阪のコーチに来ていただき、サッカーの体験授業をしていただいた。さらに「トップアスリート小学校ふれあい事業」では、近鉄ライナーズからコーチを招聘し、ラグビーの体験授業をしていただいた。ほかに、区役所と連携し、ボール投げ、サッカーを教えに来ていただいた。児童の運動への興味関心を高める機会を多く作り出すことができた。加えて、PTAと連携をして週2回第2グラウンドを開放し、下校後も児童が安心して積極的に体を動かすことができる環境を整備した。

今回の結果から、児童の運動への苦手意識とインドアな児童が増えてきていることが分かった。これからは、児童の体力向上につながるよう日々の授業を改善していくとともに、体を動かすことの楽しさを伝えることができるような取り組みを学校全体で推進していく必要がある。